



発行所 鹿児島県姶良郡姶良町役場

発行者 岩根清春 編著者梅木逸郎

(印刷所)

キング堂印刷

## 町の人口動態

(6月30日現在)

世帯数	10,078戸	(+ 52戸)
人 男	14,525人	(+ 80人)
人 女	16,108人	(+ 46人)
口 計	30,633人	(+ 126人)
	出生	27人
6月の	死亡	19人
	転入	240人
	転出	122人



読み終つたら故郷を離れている家族や知人に送りましょう

帖佐小プールにて

## —水しぶき—

肌身にじわじわと、汗がにじむ季節。

外気が暑り、水をこいしくなる季節。

町内の各学校では、元気にプールで

はしゃぐ声が、つゆ空をつきぬける。

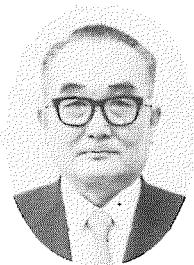
得意そうに水しぶきをあげる子ども、

こわごわと額に水をつける子ども。

今日も楽しい水しぶきがあがる。

助役 森山典男氏  
收入役 河野通則氏  
を再任

五月八日開会された臨時議会において、任期満了とともに  
なつ始良町助役・収入役の選任の件が提案され、現助役で  
ある森山典男氏と現収入役である河野通則氏が議会の同意  
を得て再任されました。



助役  
森山典男  
(63歳)



収入役  
河野通則  
(60歳)

鹿児島市立鹿児島商業学校を卒業後、鹿児島県庁に勤務され、総務部税務課長補佐、民生労働部社会課長補佐、鹿屋病院事務長、加世田・加治木の財務事務所長などを歴任され退職後、昭和五十年五月から姶良町助役として活躍されております。

就任されるまで山田・始良町役場の事務吏員として勤務され、その後の間、議会事務局・始良町農業協同組合養鶏課・教育委員会総務課住民課・経済課・水道課の各課長をして就任し、現在に至っています。

## 農政に拍車

53%の田が整備さる

農業生産の基礎である区画、形質の改善や、農道、用排水路の整備等農地の集團化を行ない、将来の農家経営の安定を図るため大型機械の効率的な活用を十分に生かし、より多くの生産性の高い土地条件に整備するための、ほ場整備事業が十年がかりで完成しましました。

すなかで、農業の生産基盤であるは場整備事業が、町の田の面積七八一ヘクタールの五三・三パーเซントに当たる四一六ヘクタールが整備されました。

時代とともに農業の形態も変化し、牛馬から耕うん機に、また、近年では大型のトラクターやコンバインが導入され、機械化が著しく進行しています。

それにともない、田の区画も一区画三反歩（二千平方メートル）と大型化し、ますます機械化農業に拍車をかけている状況です。

昭和四十六年から十年間、第一次農業構造改善事業として県営ほ

それにもとない田の区画も一  
区画三反歩(三千平方尺)と大型  
化し、ますます機械化農業に拍車  
をかけている状況です。

昭和四十六年から十年間、第一  
次農業構造改善事業として県営ほ  
場整備事業等を町が導入し、農業  
の基盤づくりが重点に行われまし  
た。今年三月に住吉地区を最後に  
県営は場整備事業の面工事が全て

#### 完備した水田

完了し、四  
一六ヘクタ  
ールが整備  
されたもの  
です。  
これから  
は、農業の  
省力化をは  
かり、增收  
対策が望ま  
れて、農家の  
経営安定  
に寄与する  
ことでしょ  
う。

# 夏まつり

とき 7月21日(土)  
ところ 始良町  
花火大会・歌謡ショー他



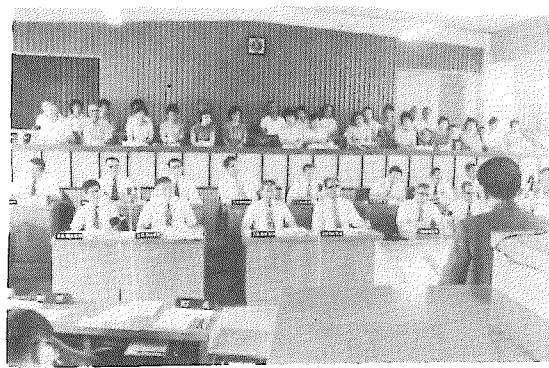
# 開き

7月20日～  
8月31日



## 九州唯一の重富海水浴場

# 敬老金支給条例を改正 大型教育補正予算も可決



可決成立された主なものは、次とおりです。

始良町敬老金支給

条例一部改正 昭和四十三年に制定されたもので、本町に居住する七十五歳以上の高齢者を対象に、長寿を祝福して敬老の意を表わすための支給条例です。

今回の一部改正は、七十五歳から

議案は、昭和五十四年度一般会計・特別会計（水道事業会計）の補正予算をはじめ、条例案件一件、人事案件二件、諮問案件一件、報告一件の議案が上掲され、それぞれについて審議がなされ、全ての議案について原案どおり可決成立しました。

第一回定例町議会は、六月二十一日から七月一日までの十一日間の会期で開催されました。今回の定例町議会は、さる四月の町議会議員選挙で改選された、新しい構成での初めての定例町議会であり、会期中傍聴席は、延べ三〇人を上回る傍聴者でまるの町議会でした。

町の発展方向を示す第一回定例町議会に提案された

七九歳、八〇歳から八四歳、八五歳から八七歳、八八歳以上の四段階に区分されて支給されていたものを、八八歳以上の支給項目を二

分化して八八歳から九九歳までと一〇〇歳以上との二つに区分したものです。

また、支給金額も八八歳から九九歳が一万円、一〇〇歳以上の場

合が十万円と定められ五段階に区分され支給されるものです。

始良町固定資産評価審査委員会 委員・始良町監査委員の選任について議会の同意を求める件

始良町固定資産評価審査委員会 委員には、昭和四十八年から現在まで活躍されておられる古馬場部落の田中穂積さん（71歳）を、始良町監査委員には、昭和五十年から町の監査委員として監査事務に当たっておられる十日町部落の高野辰司さん（58歳）の両氏を再任しました。

両氏を紹介します。  
始良町固定資産評価審査委員会 委員 田中 穂積さん  
始良町監査委員会 委員 高野 辰司さん

## 昭和五十四年度 始良町一般会計補正予算

今回の補正予算の主なものは、義務教育施設の充実と辺地道路整備等であり、三十八億三千三百万円の当初予算総額に歳入歳出それぞれ六億五千六百四十七万円を追加補正しました。

歳入内訳としては、補正額の六一パーセントに当たる三億九千九百万円の町債と二一パーセントの一千三百六十八万円の国庫支

出金、六千七百三十万円の町税の補正が主なものです。

歳出では、八五パーセントが教育費で五億六千二十七万円の補正のほか、土木費の七千四百五十三万円等が主なものです。

内訳としては、総務費の財産管理費に建昌小学校・山田中学校の解体工事費、序舎増築工事費など一千五十五万円、教育費では、新設小学校校舎新築工事・用地購入費として五千九十五万円、消防費では、松原・下名・米山の各分団の小型動力ポンプ購入費として二百五十五万円、教育費では、新設小学校校舎新築工事・用地購入費として四億七千七百八十三万円、建昌小学校屋体敷地造成工事・敷地購入・敷地内建物移転補償費、建設工事等に三千九百万円、山田中学校校舎改築工事・移転工事に二千八百九十五万円などが主なも

鹿児島市私立大道館武道専修学校を卒業後、大連の各警察署に奉職された後、昭和二十五年から昭和三十九年まで山田村役場・始良町役場に勤務されて退職されました。



始良町監査委員 田中 穂積さん



始良町監査委員 高野 辰司さん

旧制加治木中学校を卒業後、南満工專附属高等技術学院化学工業科を卒業され、終戦と同時に日本に引揚げ、商業を営みながら、昭和四十六年から始良町議会議員として三期当選されておられます。

また、議員のうちから選任される始良町監査委員として、昭和五十年から監査事務に当たられておられます。

下期において、「老人医療扶助費」「土地開発基金繰出金」「財政調整基金積立金」「新設小学校用地購入事業費減」など四億五千九百十一万円を補正し、明許譲り越分を含む三十五億六百七十万円が最終予算額になりました。この予算額は、昭和五十二年度最終予算額で二十一万円も上回る予算規模であります。予算執行状況では、歳入・歳出ともに七八パーセントの執行割合となっています。

歳入の内訳は、地方交付税・町税・国庫支出金・町債占める二十九億八千九十四万円となっています。歳出では、土木費・教育費・総務費が上位を占め、各項目の目的に従って予算執行がなされ、二十七億三千四百七十五万円であります。

## 一般会計

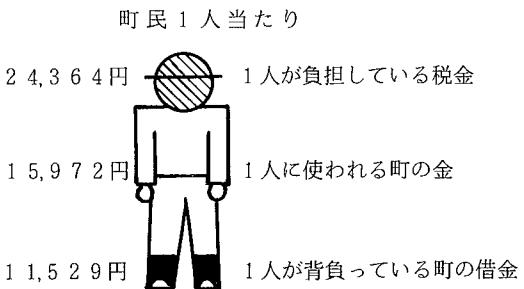
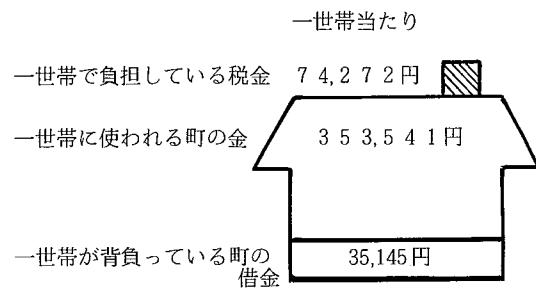
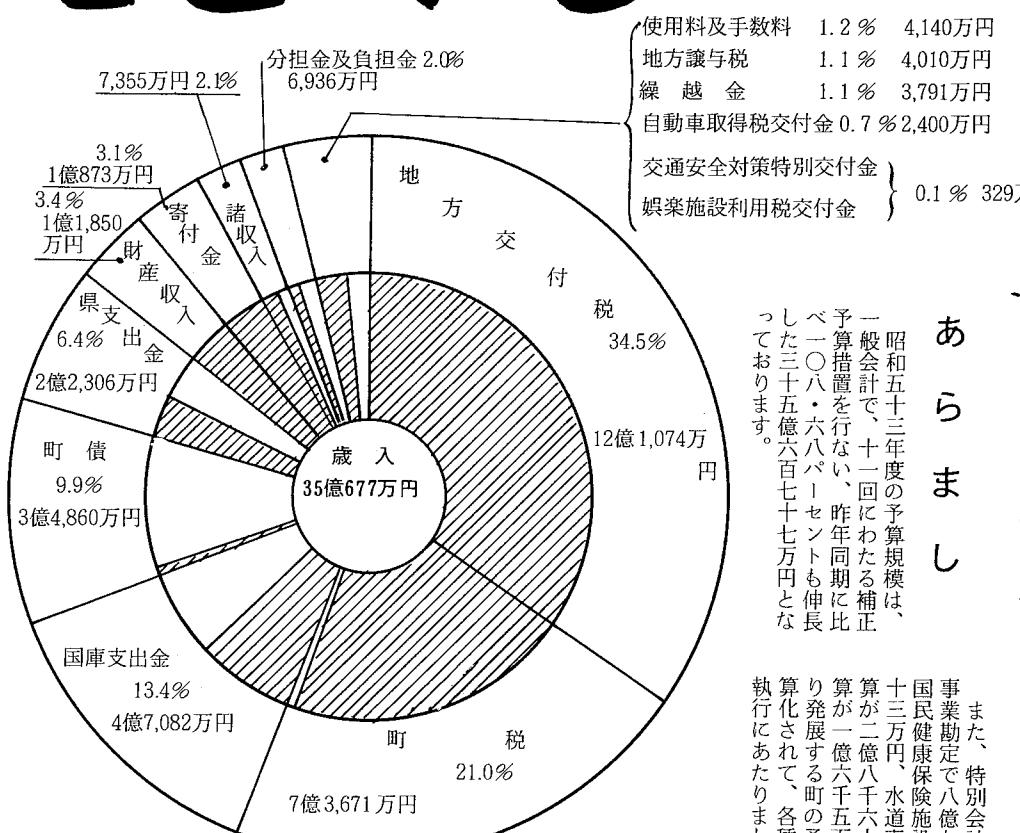
## 特別会計

## 町の台所

## 一般会計

## 一般会計

## 税負担と起債（借金）と還元額

昭和53年度下半期  
財政事情の公表  
をさぐる

執行割合です

## 会計

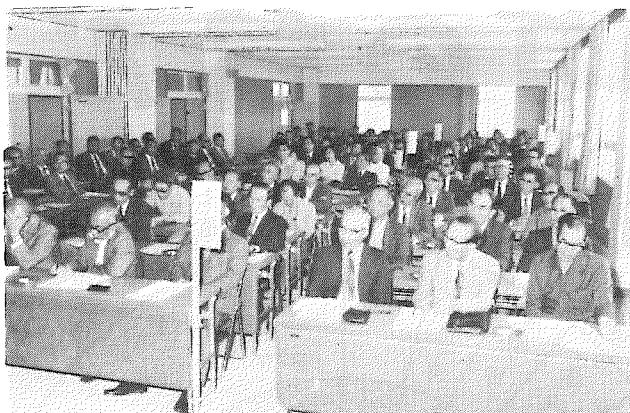
## 特別会計（水道事業）

歳入	52年度最終予算額	1億9,607万円
	53年度最終予算額	2億8,061万円
	53年度執行額	2億8,216万円
歳出	52年度最終予算額	2億489万円
	53年度最終予算額	1億6,539万円
	53年度執行額	1億5,654万円

## 特別会計（国保事業）

被保険者数	11,150人
1人当たりの保険税額と保険給付額	
保険税額	2,1186円
保険給付額	7,3884円

況並びに予算の執行状況に基づき、昭和五十三年度下半期（10月～3月）における町の台所の予算がどのように実績であります。財政の状況のあらましを明らかにしたものであります。町の台所の予算がどのよろしくあります。町の台所の予算のみならんにあります。昭和五十三年度の予算規模は、一般会計で十一年回にわたる補正を行ない、昨年同期比ベ一〇八・六八パーセントも伸長した三十五億六千七十七万円となっております。また、特別会計の国民健康保険事業勘定で八億七千八百十一万円、歳出予算が二億八千六十一万円、歳出予算が一億六千五百三十九万円となりました。算が一億六千五百三十九万円となりました。算化され、各種目的に向い予算執行にあたりました。



## 真剣に討議する公民館長さん

部落内の工事組織の方法、社会教育の問題等いろいろな問題点を究明してほしいと「なまの声」が知らされました。

部落公民館長永年勤続者表彰	現職永年勤続者(十年以上)
宮園静雄(触田上)井料光雄(福 ケ野)茶園末廣(納屋)	
入部彰(岩崎)緒方時義(江湖 迫田時義(並木西)山之内清治(	退職者(感謝状)
中牧)	
優良農家並びにグループ表彰	
農業生産グループの部	

なまの声を町政に

身近な問題点を提案

五月二十四日町中央公民館で部落公民館長会議が行われました。この会は、毎年一回、年度当初に町内の全部落の公民館長さんと一緒に町側との対話を中心に行われるものです。

町側より町長、助役、収入役、教育長、各課長が出席し、地域における「なまの声」を町政に反映しようと、熱心に討議がなされました。

たあと、早速、公民館長からの質問を受けました。

公民館長を中心とする地域住民が、何を望んでいるか、町政をどのように考えているか、何か困ったことや不満なことなどがないかを住民の「なまの声」として聞き住民と一緒にたった行政を進めていこうとするものです。

当日、一〇四人の公民館長から次々と町側に質問がされ、町長・各課長の答弁がありました。

昭和五十三年度の町  
総合表彰式が、五月三  
十一日町中央公民館で  
受賞者、来賓など多數  
の参加のもとで盛大に  
催されました。

ことしの表彰者の中  
には、昭和五十四年度  
から新しく松原下部落  
が誕生したのを機会に  
昨年度まで江湖部落公  
民館長として二十二年

## 江湖の緒方さんら表彰

## 21年間も地域自治に貢献 53年度町総合表彰

53年度町総合表彰式

林業功勞者個人表彰  
岩井田 貞夫 (木場)

五十三年度町税徵收率は（三月  
総務表章

五十三年度町税徵収率は（三月三十日調査時点）普通稅が九点五、九二ペーセント、國保稅が九点九、九〇ペーセントの成績でした。

等級別にみると普通税では、一等級（指定納期限内の完納）がハ○部落、二等級（指定納期限後三

（十日以内の完納）が四部落、三等級（年度末までの完納）が一七部落であり、国保税では、一等級が

八〇部落、二等級が八部落、級一三部落でした。

普通税（ ） 内は公民館長  
一等級代表

二等級代表  
堅野部落  
(北方繁)

寺師部落（仮屋広行）

一等級作表  
春花部落  
(吉井栄次)

三等級代表 黒葛野部落（黒葛野時男）  
楠元団地（川畠忠茂）

年金（優良納付組織長）表彰  
（ ）内は部落名です。



夏の訪れとともに、水のシーズ  
ンとなっていました。

## 昨年の水の犠牲者 84人

発生します。

水の事故は、一年中起きている  
のですが、とくに六月・八月が多  
く、県下で昨年だけでも幼児一九  
人が「水の犠牲者」として尊い命を  
おとしています。

本町でも、昨年水難事故が三件  
起り二人の尊い命が水にうばわれ  
ました。

## 水の事故を防止しましよう

毎年この時期になりますと、子  
どもの悲惨な水の事故が目立つて

ます。みなさんのがラウンドで  
練習に打ち込む元気な掛け声  
が響きわたっています。

グラウンドの使用方法は、町中  
央公民館に使用申し込みを行い、  
使用許可を得てから使用してください  
さい。

また、みなさんのグラウンドで  
す、使用後は必ず整理整頓して  
清掃に努めましょう。

会場の入口は、色彩豊かなカラ  
ー通用路や、会場の施設も、駐車  
場・水飲み場・便所等が整い、公  
園化されたグラウンドです。

すでに、一般開放が行われ、連  
日スポーツ少年団員や老年寄りた  
ちの練習に打ち込む元気な掛け声  
が響きわたっています。

このグラウンドは、ソフトボ  
ル・野球・ゲートボール会場が主  
なものです。

が完成しました。

このグラウンドは、ソフ

## 帖佐グラウンド完成

一般開放でにぎわう



帖佐中学校隣に、面積一・三ヘ  
クタール総工費二千三百六万円を  
かけて、三月近代的なグラウンド

が完成しました。

このグラウンドは、ソフ

トボ

ル・野球・ゲートボール会場が主

なものです。

このグラウンドは、ソフ

トボ



## 93%が税金で処理

### 深刻化する ゴミ処理

私たちの家庭から出るゴミの量は、年々増える一方です。いまや「ゴミ戦争」といわれるほどで、膨大なゴミの量と処理費用の増大は財政的にも深刻化する一方です。

また、山や海などの自然も、ゴミ公害におかれています。緑の野山や河川・海岸などにゴミが不法に投棄され、自然の美しい景観をそよなっている例や、収集日でもないのにゴミ収集所にゴミが山積されて、きわめて不衛生的な環境になっている例があるとをたしません。

家庭ゴミを新規に出されるかたは、必ず所定の手続を没頭で行ってから出しましょう。私たちの身近な問題として、ゴミの再生利用や減量運動、正しい出し方などについて考えてみましょう。

### 一万三千八百三円 で処理

私たちが生活していくなかで、排出されるゴミの量は、一年間に一般チリで三四五六トン、不燃物で二六一六トンと推計されます。この膨大なゴミの量は、町内四

五〇カ所の収集所に出されるもので、日程表により収集されたものです。

町では、このようなゴミ処理のために五千二百八十七万円の経費をかけて処理しています。これを一世帯当たりに換算しますと一万三百八十三円を要して処理に当たることになります。

これらの経費は、「じん介処理手数料」として、月額「一般家庭六十円、普通店舗百円、食堂など汚物の多い所百八十円、病院等三百円」と段階的に払ってもらうものが総経費の七パーセントに当たり、残り九三パーセントはみんなの大切な税金でまかなわれています。

### ゴミの減量 運動

自然を汚す「ゴミ公害」は、私たちの身のまわりから解決できるものばかりです。

ゴミとして捨てる前に、今一度再利用できないものかを考える必要があるのではないかでしょう。親子会、子ども会の廃品回収に使えないか、不用品の交換に活用できないか、飼料・肥料として再利用できないか等減量の方法はいろいろ考慮されていることでしょう。

けましょう。

### 燃えるものも もう一度確かめて

生活水準が高くなり、ゴミとして家庭から排出される種類も多種多様なものへと変わっています。

最近、プラスチック類やボリューム化ビニール、ゴム類がゴミの中に大量に排出されています。

この種のものは、発熱量が高く燃焼上において大変役に立つのですが燃焼ガスによる異常高温が発生するため、焼却炉内の金属やレンガを腐蝕させる原因にもなります。

燃えるもの、燃えないもの、危険物を区別して収集場所へ出しましょう。

生ゴミは、水切りをよくして出します。

大量的ゴミを処理する焼却炉を大事に使いたいものです。

万一、炉が故障すると、たちまちゴミの山ができ、一般の家庭からの生ゴミなどの腐敗による悪臭が起り、野良犬・捨て猫やハエ等が繁殖し、収集場所付近のみさんに迷惑をかけることになります。

燃えるからといって、生ゴミと一緒に排出しないよう注意したいものです。

### みんなの 協力を



### まちぐるみで ゴミ処理を工夫

私たちのまちが美観をそこなわないために、一人ひとりの心掛けで、住みよい生活環境をつくりゴミ集積場付近の人々に迷惑をかけないように、まちぐるみで環境の美化にとめましょう。



三拾町の奥屋カメさん

昭和の時代も半世紀をすぎ、明治の時代が遠ざかった感じを受けた今日、町内で初めての百歳が誕生しました。三拾町部落に住む奥屋カメさんがその人です。「人生七十年」はあたりまえのこととは言うものの苦難のいばらの道を一步一步踏み固めついに一世紀を突破した「カメばあさん」おめでとうございます。

カメばあさんは明治十二年三月十五日生れで亡夫帖太郎さんと十九歳で結婚し子供七人・孫十四人ひ孫十四人と子宝に恵まれました。が、すでに子供さんも六人なくなり、ただ一人川添ユキノさん(60歳)が生存し、川添さん親子がカメさんの介護を行って、なごやか

に暮らしておられます。部落の人達も「おらが町一番の長寿」を祝い四月十五日部落あげてのお祝いを行ないました。祝宴の席で町長は「カメばあさんが町一番の長寿者であると同時に生辞引であります。これからは日本一を目指します元気で長生きしてください」と激励しました。

これに答へ、カメばあさんがマイクを使い「ミンナサアーンおかげで百歳にナイモシタ」と会場一杯に元気な声でお礼を述べられた後、さっそく環境整備に参加された人達から拍手がわき

感激にひたつておられました。水を井戸からくみあげ、すべての運搬を人間の力に頼っていたこと。今のように自動車はもちろん道路もない、やつと人がひとり通れるほどのせまい険しい道を、食べ物も満足に食べられない時代を通り過ぎたシワの深みが印象的でした。九十歳頃まで水田に出て農作業の手伝いをしておられましたが、骨盤を骨折以来、家で留守番役を引き受け、おられました。長寿の秘決は「野菜・穀類の自然食を腹八分食べ、常に笑顔を断やさず熟睡することです」と一世紀を生きぬいた言葉としてかえつてきました。毎日を大事に元気でさらに長生きしてほしいものです。

## 100歳おめでとう

### 三拾町の奥屋カメさん

に暮らしておられます。部落の人達も「おらが町一番の長寿」を祝い四月十五日部落あげてのお祝いを行ないました。

に暮らしておられます。

部落の人達も「おらが町一番の長寿」を祝い四月十五日部落あげてのお祝いを行ないました。

日本一を目指します元気で長生きしてください」と激励しました。

これに答へ、カメばあさんがマイクを使い「ミンナサアーンおかげで百歳にナイモシタ」と会場一杯に元気な声でお礼を述べられた後、さっそく環境整備に参加された人達から拍手がわき感激にひたつておられました。水を井戸からくみあげ、すべての運搬を人間の力に頼っていたこと。今のように自動車はもちろん道路もない、やつと人がひとり通れるほどのせまい険しい道を、食べ物も満足に食べられない時代を通り過ぎたシワの深みが印象的でした。九十歳頃まで水田に出て農作業の手伝いをしておられましたが、骨盤を骨折以来、家で留守番役を引き受け、おられました。長寿の秘決は「野菜・穀類の自然食を腹八分食べ、常に笑顔を断やさず熟睡することです」と一世紀を生きぬいた言葉としてかえつてきました。毎日を大事に元気でさらに長生きしてほしいものです。

## 父親が奉仕

### 帖佐幼稚園の環境整備



### 行政の苦情相談は

#### 大重さんに

町村等の行政に対し、町民のみなさんの身になって問題解決に努力されます。

意見や要望、第三者の公正な意見、苦情その他心配ごとなど何でも気軽にご相談ください。相談料は無料です。

行政に関する不平や不満、改善行政相談委員に、高橋部落の大重不可止さん(65歳)が行政

管理部長官から再任されました。

行政相談委員は、国・県・市

電話 (5) 4757

大重不可止さん(65歳)が行政

管理部長官から再任されました。

行政相談委員は、国・県・市

電話 (5) 4757

大重不可止さん(65歳)が行政

管理部長官から再任されました。

行政相談委員は、国・県・市

電話 (5) 4757

### ご利用を

地域住民のみなさんの生活向上と健全なコミュニケーションの場を育成するために重富地区公民館が建設されました。

行政に関する不平や不満、改善

意見や要望、第三者の公正な意

見、苦情その他心配ごとなど何

でも気軽にご相談ください。相

談料は無料です。

行政相談委員は、高橋部落の大重不可止さん(65歳)が行政

管理部長官から再任されました。

行政相談委員は、国・県・市

電話 (5) 4757

大重不可止さん(65歳)が行政

